

◀画像ページの見かた▶

- 各章は部位と撮像法によって分類されています
- 左ページには正常画像を配置し、主な構造の名称を列挙しました

左ページ：正常画像

★章タイトル(部位および撮像法)

第1章 頭部 A) 頭部CT

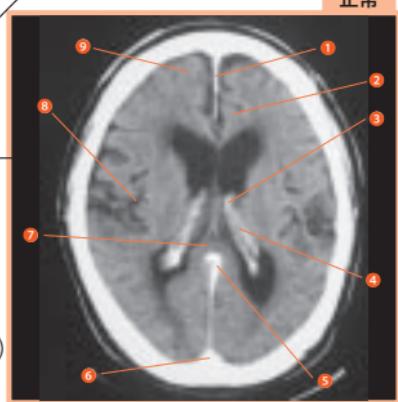
10 脳膿瘍(ドレナージ)

正常

★疾患名や治療法

★正常画像

★構造部位の名称
(画像上の番号と対応)



① 大脳縫 (falx cerebri)

② 带状回 (cingulate gyrus)

③ 側脳室部

(body of lateral ventricle)

④ 脳絡叢 (choroid plexus)

⑤ ガレン大脳静脈

(great cerebral vein of Galen)

⑥ 上矢状洞

(supreior sagittal sinus)

⑦ 脳梁膨大部

(corpus callosum splenium)

⑧ シルビウス裂

(sylvian fissure)

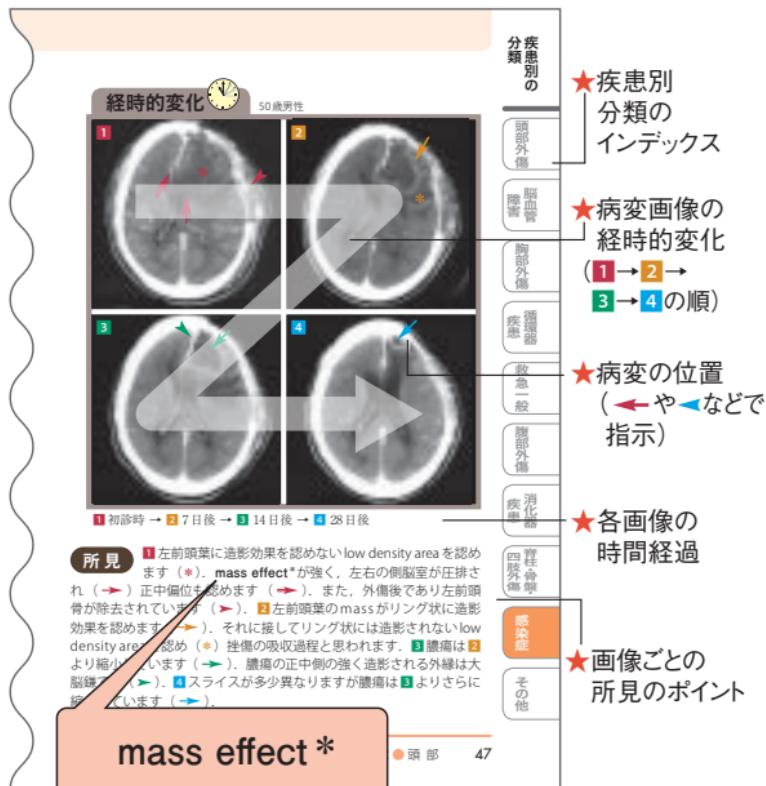
⑨ 上前頭回

(superior frontal gyrus)

正常画像と病変画像の時間経過を見開きで比べるから、
いつ、どこが、なぜ異常なのかすぐにわかる!

■右ページには左ページと同じような断面で、病変のある画像を時間経過で並べ、病変部位を矢印や矢頭で示しています。インデックスは疾患別の分類を表しています

右ページ：病変のある画像



★重要語句は太字で*印がついており、巻末に用語解説あり